

関西学院大学 経済学部

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

TEL 0798-54-6204 FAX 0798-51-0944

URL https://www.kwansei.ac.jp/s_economics

2021年3月 発行

2022年3月一部改訂

2025年3月一部改訂

2026年3月一部改訂

※紹介している授業やプログラムは予告なく変更・中止となることがあります。



経済学を通し 持続可能な未来の創出に挑む

Message

学部長挨拶

未来のために共に学び考えよう!

今の世界の状況に目を向けたとき、経済学を学ぶとは何を意味するのでしょうか。日本ユニセフ協会のホームページ*では、SDGsについて次のように説明されています。「貧困、紛争、気候変動、感染症。人類はこれまでにない数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることが難しくなると懸念されています。こうした危機感から、世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。」

この「課題を整理し、解決方法を考える」ため、複雑な世界を読み解く助けになる学問の一つが経済学です。経済学では、まず3つの「人」の行動を理解します。それは、消費者である「個人」、生産を担う「企業」、そして公共の役割を果たす「政府」です。世界をこの3つに分け、それぞれの行動を理解する中で、これらの「人」がどのように行動すれば、より良い未来を築けるかを考えます。

学びの過程では、数式やデータと向き合い、パソコンを駆使し、本を読み解く日々が続くでしょう。さらに、グループワークでの意見交換や実社会の課題解決への挑戦といった学内での学びに加え、ボランティア活動や留学など大学の外での経験を通じて、新たな価値観を得る機会も多くあります。そして、その過程で出会う様々な人々が、皆さんを支え、学びを豊かにしてくれるでしょう。

この経済学部での学びを通じて、持続可能な未来を共に考えていきましょう。

経済学部長 山鹿 久木

経済学部の

3つのPoint

自らの関心と向き合い学びを探究するための3つのポイントが、一人ひとりの未来に生きる充実の学びを実現します。

Point 01 — ハイレベルな学修を実現
Faculty
【教員紹介】

→ P.3-6

Point 02 — 様々なつながりを学びに活かせる
Seminar&Education
【ゼミナール・授業紹介】

→ P.7-8

Point 03 — 段階的に興味に合わせて学べる
Curriculum
【カリキュラム】

→ P.11-12

* <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/about/>



世の中にお金がスムーズに 流れる仕組みを考える

秋吉 史夫 教授

【専門領域】 金融システム・金融危機・銀行の機能

私たちの生活には、お金が不可欠です。例えば私たちが商品を購入する際には、その代金を売り手である企業に、現金や銀行振り込みで支払います。また企業も、商品の製造や販売に必要なお金を銀行からの借入などで集めています。このように私たちの生活は、お金がスムーズに流れることによって支えられています。このお金が流れる仕組みを金融システムといいます。現在の経済では、銀行を中心とする高度な金融システムが発達しています。しかし、時には金融システムがうまく働かなくなり、経済に深刻なダメージを与える金融危機が発生します。私は、どのようにすれば金融危機が防げるかを研究しています。



望ましい配分や決定が得られる ルールを設計する

田村 翔平 専任講師

【専門領域】 メカニズムデザイン・社会的選択理論・制度統計

メカニズムデザインでは、人々が資源の配分や集団的な意思決定を行う際、どのようなルールを設計すれば、人々の自由な行動を通じて望ましい配分や決定が実現できるかを考察します。例えば、オークションでは落札者と支払額の決め方をどのようにデザインすれば最も資源を有効活用できる買い手が落札できるかを考え、マッチングの決定ではそれをどのようなルールに基づいて行えば各人がより望ましい相手とマッチできるかを考えます。私はこのメカニズムデザインを用いて、組織が代表者や仕事の担当者等を選出する際、真に相応しい人を選出するためにはどのようなルールを設計すればよいかについて研究しています。

行財政改革から持続可能な 政府のあり方を考える

上村 敏之 教授

【専門領域】 行政財運営・行政改革・社会保障制度

私たちの生活には、社会保障はもちろん、警察や消防などの公共サービスが欠かせません。公共サービスの財源は、国民が負担する税や社会保険料です。いまの税や社会保険料は、公平で中立な制度でしょうか。この場合の公平性や中立性とは、どのような意味でしょうか。日本など多くの国は財政難に陥っており、公債と呼ばれる借金で財政を賄っていますが、これは望ましいことでしょうか。私の研究対象は、税制や社会保障制度、特に国や地方自治体の行財政改革です。現実の国や地方自治体で行われている行財政運営をモチーフにして、政府など非営利組織の経営を考察し、持続可能な行財政のあり方を考えています。



経済活性化とより良い暮らしの 両立を目指して

西村 智 教授

【専門領域】 家計行動の経済分析・社会政策

家計消費は経済全体の5割以上を占めており、家計行動が経済に与える影響は大きいといえます。また、家計も経済情勢の影響を受けます。不況時には収入の低下や失業のリスクが高まります。それが長期にわたる場合には、人生設計や家族計画を見直す必要がでてきます。昨今、所得の低下や将来不安から結婚や出産をしない個人が増えており、その結果、出生率が低下し、将来の労働力不足や社会保障の財源不足が懸念されています。このような問題意識から家計の結婚行動や出産行動について経済学的に研究しています。経済活性化とより良い暮らしを両立させるためにどのような政策が必要かについて考えています。



「革新」を担う起業家 その登場と育成への課題を探る

加藤 雅俊 教授

【専門領域】アントレプレナーシップの経済学

我々が日々触れているスマホ、音楽配信といった製品・サービスは、イノベーション（革新）が実現しなければ存在しません。我々の生活を一変させるような画期的なイノベーションの多くは、創業間もない企業である「スタートアップ」から生まれてきました。そのため、スタートアップを担う「起業家」の登場には大きな期待が寄せられています。他方で、新たなビジネスを始める際に資金、取引先、技術、従業員などの資源が必要となりますが、多くの起業家はこれらを獲得するのに苦労します。私の研究では、起業家支援のために何が必要かについて考え、実際のデータを解析することを通して政策提言をしています。



経済思想の歴史から 現代の「当たり前」を問い直す

久保 真 教授

【専門領域】経済学史・経済学の制度化・思想と社会

現代では当たり前のことが過去においてはまったくの常識外れだ、ということには枚挙に暇がありません。経済の分野でも多くの事例が知られています。過去に遡れば、借金を返済できなかった人を罪人として収監する施設が存在しましたが、今では想像もつきません。かつては不況を放漫経営の企業を淘汰する良い機会だと捉え、不況をむしろ推し進める政策がとられたこともありましたが、今ならまったく意味不明でしょう。では、私たちはいかにして過去の通念を捨てその経済的知見をアップデートしてきたのでしょうか。これに答えようとするのが私の研究です。それは、現代の「当たり前」を問い直すことでもあるのです。



データを解析することで 対象の理解を深める

國濱 剛 准教授

【専門領域】ベイズ統計学・マルコフ連鎖モンテカルロ法・ノンパラメトリック法

IT技術の急速な発展に伴い、私たちの社会の様々な場面で組織単位、個人単位の情報が集められ、大規模なデータとして利用できるようになりました。それらのデータを丁寧に解析することで、社会的課題解決や新たな価値創造へと繋がる可能性があります。そのためには統計学的知識に基づく適切なスキルが必要であり、近年、文系理系を問わず社会全体でその専門的技術に対する需要が高まっています。私の研究では、経済学などの社会科学におけるデータを解析するための新たな統計手法の開発に取り組んでいます。データの特徴を考慮に入れた解析方法を応用することで、新たな知見が得られる可能性が広がります。



環境問題解決のための マーケットメカニズムを考える

東田 啓作 教授

【専門領域】循環資源貿易・水産資源管理

環境問題と聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか？プラスチックごみとレジ袋の有料化でしょうか？それとも地球温暖化でしょうか？「良い環境」、例えば「きれいな大気」、「澄んだ海」、「生態系」は、お店では売られていません。しかし、「良い環境」に価格をつけて取引する仕組み、つまりマーケットメカニズムを利用して問題を解決していく制度が様々な環境問題に対して実施されてきています。また、製品の価格を少し「変えて」消費者の行動に影響を与える仕組みを利用して、環境保護を実現していく政策も存在します。このような仕組みが適切に機能するための制度・政策のデザインを考えています。



Seminar

【ゼミナール紹介】

ゼミでの学びが視野を広げ
学生の更なるレベルアップを実現します。

3年生から始まる「専門演習」では、担当教員の研究領域を中心に多角的に研究を進めます。
1・2年生の時に学んだ基礎を活かしながら、仲間との議論を通し、より深い理解につなげます。

フィールドワークを中心に 途上国の問題に切り込む

徹底して内容を掘り下げる座学による学び、それらをフィールドで調査・検証、得られた知見を用いて実践活動へつなぐ、という一貫した研究活動を展開しています。テーマはアフリカ農村から日本のホームレス問題まで幅広く、ここまで一貫通貫+他分野横断型の教育・研究体制をとっているゼミは日本唯一。創造力と想像力が育つよう、学生の個性を尊重し共に学んでいます。



Student's voice

マダガスカルでの1か月のフィールドワーク調査に参加しました。現地の方々への調査で心豊かに暮らしている現実を知り、途上国への印象を良い意味で打ち砕かれました。調査やゼミを通じて、「情報を自分で取りに行くこと」の重要性を知り、挫折しそうなっても「向き合う姿勢をあきらめない」力がつきました。

松村 知周さん (大阪府 私立関西大倉高等学校卒業)



Seminar

栗田 匡相
ゼミ



Seminar

猪野 弘明
ゼミ

ミクロ経済学の理論と応用で 経済学的思考力を身につけた人材となる

社会現象を個人の経済インセンティブ(動機)から説明するのがミクロ経済学。私のゼミはその応用として、学生が興味のあるテーマを自由に選んで研究できることが大きな特徴です。それぞれのテーマを共有し違った意見を交換することで個人では見つけられなかった発見につながることも。学びのなかで学生は経済学的思考力をつけ、私自身も学生の新しい着想に刺激を受けています。



Student's voice

私たちのゼミは他大学と研究発表をする機会があり、刺激を受けるとともに知識欲がどんどん強まりました。その中で、現代人の所有に関する意識の変化に興味を覚えシェアリングエコノミーについて経済理論を用いて研究しています。このテーマをさらに探究するために引き続き大学院で学びを深めていきます。

中尾 こはるさん (大阪府立東淀川高等学校卒業)



Student's voice

YouTubeの有料サービスを利用する視聴者の割合と広告事業者数との関係性についてシミュレーションをおこなっています。元々数学が得意だったことに加え、簿記の授業を面白く感じたことから専門職大学院で公認会計士を目指すことになりました。経済学部は将来の選択肢が幅広いことも魅力です。

加藤 悠さん (和歌山県 私立智辯学園和歌山高等学校卒業)

Education

【授業紹介】

経済学部独自の
グローバル教育。

経済学部では、グローバル社会で活躍できる人材の育成に向けて、学問の専門性ととも言語の運用能力を高められる授業を開講。大学の外で実践的に学ぶ授業(プログラム)も多数実施しています。



Topics in Economics (in English)

英語で身につける経済学

進行の全てが英語で行われる授業。経済学の基本的な知識だけでなく英語の運用能力をも必要とします。より高いレベルで経済学を学びたい学生におすすめの授業です。Topics in Economics (in English)では、ゲーム理論の知識を深め、現代社会で起きている問題に適用できるようになることを目標とします。英語で行われる授業は、他にも「US Economy」があります。(2025年度時点)

言語科目

四技能を育む言語教育

必修の英語を軸に、フランス語・ドイツ語・中国語・朝鮮語・スペイン語の中から第二外国語を1つ選択します。英語の授業では、日本人の教員とネイティブの教員の両方の授業を履修できるようなカリキュラムになっています。聞く・話す・読む・書くの包括的アプローチにより、言語で自己の考えを整理し表現できる力を養います。



グローバルチャレンジ制度

経済学部が独自に実施する、豊富な海外学習活動

実社会の課題に対して、経済学の様々な分析ツールの有用性を理解するとともに、実践型の体験学習を通じ、社会課題を把握する力を身につけます。今後の日本社会を切り拓いていくためのグローバル人材に必要な学習姿勢、思考力、行動力、協調性などを養います。

概要

海外に渡航して学ぶプログラムや、キャンパス内外で留学生と共修する科目等の「インターナショナルプログラム」へのチャレンジを全学生に強く推奨する制度

目的

グローバルな競争社会を生き抜くために欠かせない「主体性」「タフネス」「多様性への理解」「チャレンジ精神」等を育むこと



- 欧州のスポーツビジネス
- 欧州の観光ビジネス
- アジア地域の観光開発
- アフリカ研究
- グローバルリーダーの養成
- 日中共同学術フォーラム
- 吉林大学(学生共同研究)

Students 【学生紹介】

何を学び、成長していくのか。
夢に向かう先輩たちの姿を紹介。

経済学部Webサイトでは、
多彩な学生生活を送る学生への
インタビュー記事を公開しています。



円滑に授業を受講できるよう、ハード・ソフト両方の面でサポート体制が整っています。
充実した大学生活を送る学生たちにフォーカスしました。

小林伸生ゼミ



中川 大雅さん（鳥取県立倉吉東高等学校）

田村翔平ゼミ



菊田 昇剛さん（東京都 私立桐朋高等学校卒業）

秋吉史夫ゼミ



奥川 美優さん（兵庫県立宝塚北高等学校卒業）

上村敏之ゼミ



田村 みらいさん（和歌山県立桐蔭高等学校卒業）

中期留学で多くの国の人々と交流 国際社会で活躍できる人材を目指す

関西学院大学では、国際的な環境の中で学生が積極的に留学できるよう、期間や行き先の選択肢が多様に用意されています。私は大学2年生の時にトロント大学での中期留学に参加。英語の集中学習や他国の留学生との交流、ホームステイ、課外活動を通して、多くの国の人々とコミュニケーションをとる貴重な機会を得ました。この経験を通じて、語学力の重要性を実感。また、異なる文化や価値観に触れて視野が広がりました。これからさらに英語力を向上させ、国際社会で活躍できる人材になりたいと考えています。



学部サポートの活用で 正課授業と部活動の両立を実現

高校生のときにゲーム理論の面白さを知り、学ぶなら関学の経済学部、と心に決めました。入学して感じたのは、基礎を徹底して学ぶ「土台づくり」の大切さ。授業をしっかり聞くことで理解も深まり、新たな発見に学びが楽しくなります。応援団総部に所属しており休日も含めて活動があるため、時間を大切に、集中して学ぶ力もつきました。わからないことは先生に授業中質問をしたり、試験前は友人と談話室やゼミ活動室で一緒に勉強したりと学部のサポートや施設をうまく活用して、部活と勉強の両立が実現できています。



目的に合わせて選べる豊富な留学スタイル



交換留学・中期留学・海外インターンシップ・海外ボランティア・国連セミナーなど全学的なプログラムに加え、経済学部独自開講のプログラムもあり、目的や渡航期間によって選ぶことができます。単位認定制度や、帰国後ゼミへ合流できる制度も整っており、留学を全面的にサポートしています。

参考書貸出・L.A.制度で初年次の学習をサポート



経済学部事務室では参考書の貸し出しを行っており、自習や課題に取り組む際に利用できます。また、大学院生や上級生が下級生の学習フォローをするT.A.制度（ティーチング・アシスタント制度）、L.A.制度（ラーニング・アシスタント制度）を導入。授業でわからなかったポイントを早期に解決することができます。

ゼミ発表時には資料準備室の PC貸出・印刷サービスをフル活用

経済学は難しいものではなく、私たちの生活に直結する身近で楽しい学問。また、経済学部は他の学部と比べて早くゼミが始まることも大きな魅力です。同じゼミの他学年との交流もありいろいろな年代の友人ができました。ゼミ発表を数多く経験することで堂々と話す度胸もつき、自信を持って就職活動に臨めました。学部独自のサービスとして、ノートパソコンの貸出制度や印刷サービスがありますが、自宅から持ってこなくてもパソコンが使える、さらには授業の資料を無料で印刷していただけることはとてもありがたかったです。



資料準備室でのPC貸出・印刷サービス



スタッフ常駐の資料準備室では、ノートパソコンの貸し出しや、授業やゼミ発表用の資料の印刷を無料で行っています。学生たちは、図書館やPC教室へ行かずとも、経済学部内にある学習スペースですぐに勉強やグループワークを行うことができます。

自分の可能性を広げた ゼミ仲間との出会い

学問の根幹である経済学を学び、専門的な知識を得ることもでき、将来の可能性を最大限広げられると思っています。ゼミでの出会いも自分の世界が広がりました。元々はどちらかというおとなしい性格でしたが、多種多様なバックグラウンドを持つゼミ仲間から刺激を受けて積極的に行動・発言できるようになりました。この経験から、多職種と関わられる仕事に就きたいという目標もできました。これからも仲間と情報交換をし、さらに深い知識を身につけて、人の心や記憶に残るモノ・サービスづくりができれば、と考えています。



自習、グループワークに便利な学習スペース



経済学部棟には、学生が自由に利用できるスペースが多くあります。談話室では飲食も可能で、授業の合間に休憩やグループワークをするなど、「ここに来れば誰かに会える」経済学部生の憩いの場となっています。ほかに、ワークルームやゼミ活動室などがあります。

Curriculum 【カリキュラム】



経済学部がもたらす3つの力

- 1 「課題を把握する力」**
現象の背後にある本質を理論的に捉えられる
- 2 「課題解決に向け他者と協働する力」**
立場や考えの違いを超えて、他者と深くコミュニケーションがとれる
- 3 「課題解決を分析的に見通す力」**
様々な分析ツールを場面に応じて適切に使うことができる

社会の様々な場面で役立つこれら3つの力を身につけていくために、経済学部では次の3つの特徴をもつカリキュラムを提供しています。

夢に向かってはばたく学生が
心ゆくまで学べる環境が広がっています。

Point 1

把握 本質の理論的な理解

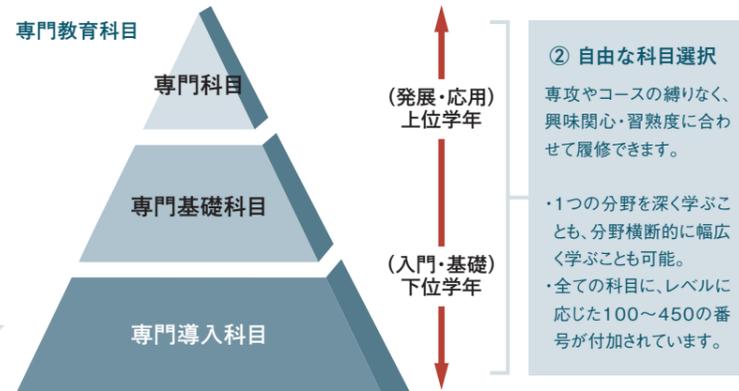
経済理論の基礎を
しっかり身につけられる

体系的かつ柔軟なカリキュラム

経済学は段階的な学習が必要です。入学直後に「経済学入門」「経済数学入門」といった専門導入科目、「ミクロ経済学」「マクロ経済学」といった専門基礎科目を学ぶことで、経済学の学修に必要な不可欠な概念や方法を身につけます。2年生からは、それらを基礎にして専門的な学びに進みます。

① 基礎に注力

基礎からしっかり学ぶことで、経済学の知識を確実に身につけ、より専門的な学修を可能にします。



② 自由な科目選択

専攻やコースの縛りなく、興味関心・習熟度に合わせて履修できます。

- ・1つの分野を深く学ぶことも、分野横断的に幅広く学ぶことも可能。
- ・全ての科目に、レベルに応じた100～450の番号が付加されています。

Point 2

協働 深いコミュニケーション

仲間・教員と学び合い、
専門性を高める

多様なテーマから成るゼミ教育

3年生からは、専門的な学びの中核となる少人数構成のゼミに参加できます。それぞれの分野のエキスパートである教員から個別に指導を受けるだけでなく、他の参加学生と一緒に調査を行ったり議論を交わしたりしながら、本格的な研究に取り組みます。2年生対象の科目「ブレ演習」で、それぞれのゼミの研究テーマを知ることができます。

研究テーマ一覧

- 企業金融の研究
- Macroeconomics and Economic Policy
- 家族の経済学
- 経済問題の発見と数理分析
- イノベーションの経済学
- 発展途上国の経済開発+日本が抱える課題の解決
- 歴史を経済学のフレームワークで考える
- ゲーム理論の基礎と応用
- 家計行動の経済学
- 公共サービスの望ましい供給のあり方と政策評価

Point 3

分析 ツールの適切な活用

データ分析の手法を
実践的に学ぶ

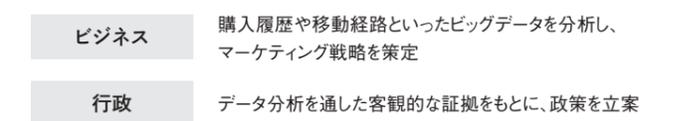
課題解決型データ分析プログラム

データ分析能力は、近年、社会においてこれまで以上に求められる重要な能力の一つです。本プログラムでは、社会の経済的諸課題を題材として、課題解決に必要な高度なデータ分析能力を段階的に身につけていきます。

社会で求められるデータ分析力



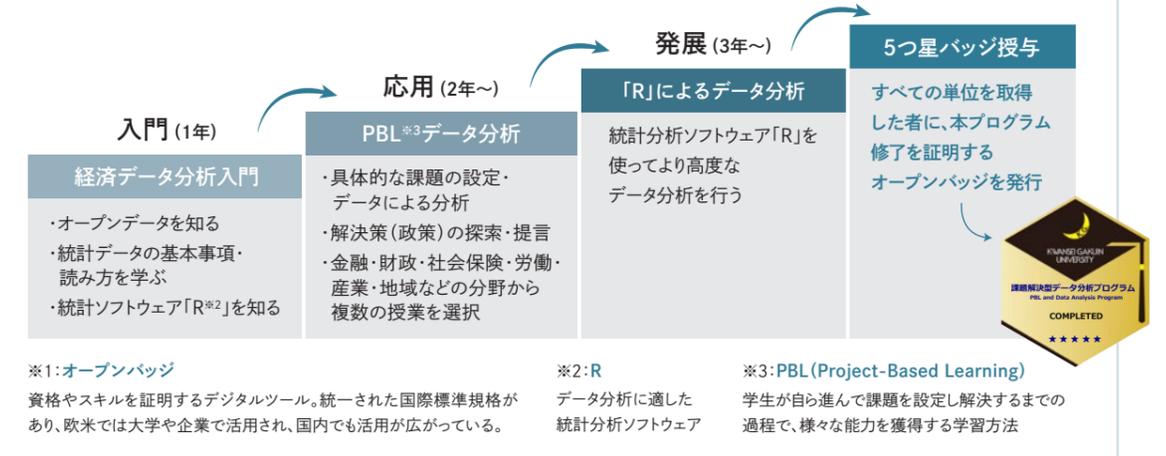
データ分析力活用の場



課題解決型データ分析プログラム履修フロー

各段階の単位取得でオープンバッジ*1を授与します。

詳細は
特設サイトにて



履修モデル

	1年生	2年生	3年生	4年生	
専門導入科目	100: 経済学入門(2) 100: 経済数学入門(2) 100: 情報処理入門(2) 100: 経済データ分析入門(2) 100: 経済学への招待(2)				
専門基礎科目	200: ミクロ経済学A(2) 200: マクロ経済学A(2) 200: 経済の歴史と思想(2)	200: 計量経済学A(2) 200: ミクロ経済学B(2)			10 (7科目中 5科目 選択必修)
専門科目(演習)		200: プレ演習①(2)・②(2) 200: PBLデータ分析(2)	300: 専門演習A(2)・B(2) 400: Rによるデータ分析(2)	400: 卒業研究演習A(2)・B(2) 450: 卒業論文(4)	
専門科目(講義)	100: 言語と文化(2) 100: 地域政策入門A(2)	200: 行動経済学入門(2) 200: 経済統計学A(2) 200: 財政学B(2) 200: 環境・資源経済学(2) 200: 社会政策A(2) 200: 労働経済学B(2) 200: 開発経済学(2) 200: イノベーションの経済学(2) 300: 家計経済学I(2)	200: 国際経済学(2) 300: 産業組織論とその応用(2) 300: 社会保障論A(2) 300: 家計経済学II(2) 300: Topics in Economics (in English) A(2) 300: 経営学A(2) 300: 会計学B(2) 400: 金融機関論(2) 400: 資本市場論(2)	300: 公共政策論(2) 300: 地域政策トピックス(2) 400: 発展ミクロ経済学A(2) 400: 発展マクロ経済学B(2) 450: 上級計量経済学I(2)	82 (選択)

()内は単位数 ※上記は一例です。また、年度によって開講科目は異なります。

多様な業界で活躍する人材を輩出。
高い就職実績を誇ります。

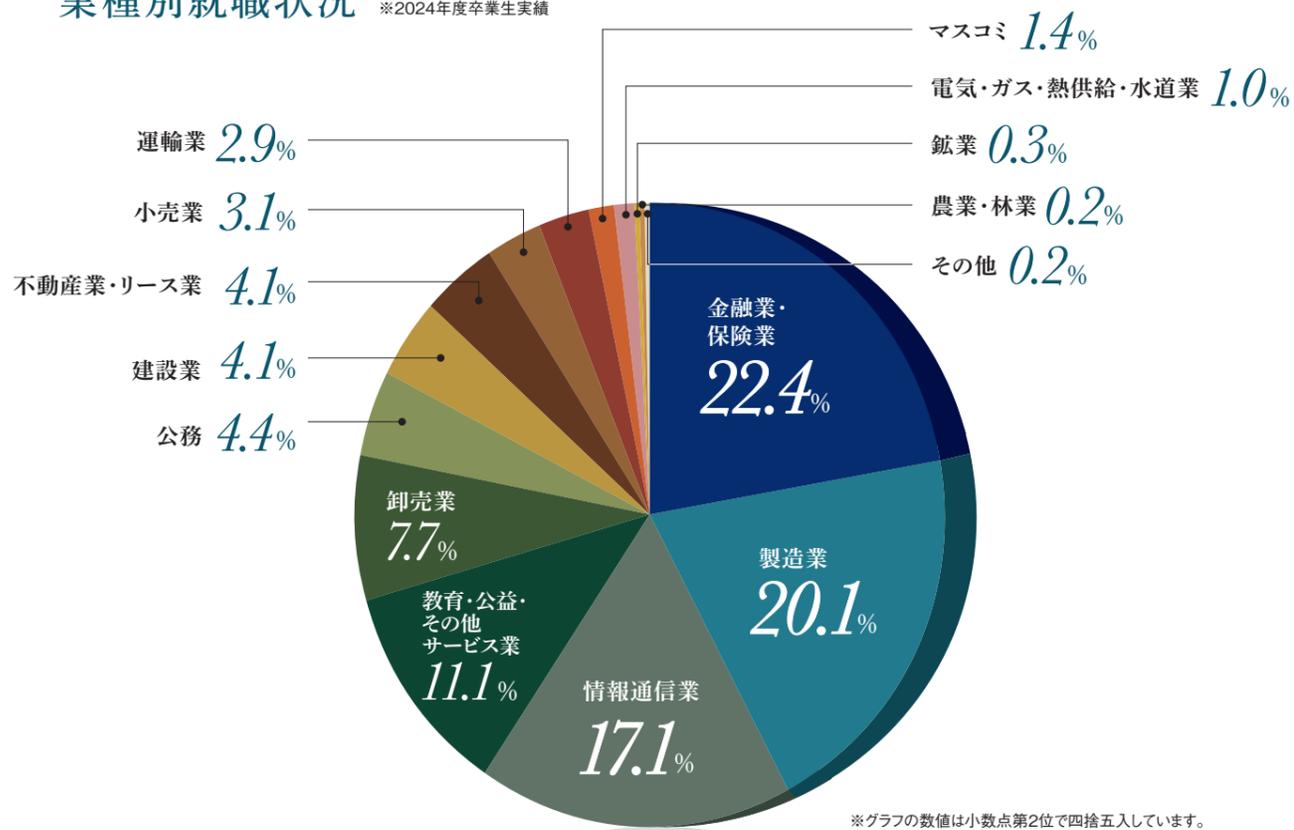
就職率 **99.8%**

※2024年度卒業生実績
※就職者(586人)／就職希望者(就職+就職希望だが未決定)(587人)

就職に強い理由

- 1 経済学を学ぶ中で社会の仕組みや業界の知識を得られる
- 2 OB・OGや上級生による就職指導
- 3 ゼミの中で鍛えられるインプット・アウトプット力

業種別就職状況 ※2024年度卒業生実績



主な就職先 ※2024年度卒業生実績

- 野村證券(株) [5]
 - (株)三井住友銀行 [4]
 - 川崎重工業(株) [4]
 - TIS(株) [3]
 - 住友電気工業(株) [3]
 - パナソニック(株) [2]
 - (株)みずほフィナンシャルグループ [2]
 - アビームコンサルティング(株) [2]
 - (株)日立製作所 [2]
 - 阪急阪神ホールディングス(株) [2]
 - 今治造船(株) [2]
 - (株)伊予銀行 [2]
 - SBIホールディングス(株) [1]
 - アサヒ飲料(株) [1]
 - セイコーエプソン(株) [1]
 - ソフトバンク(株) [1]
 - トヨタ自動車(株) [1]
 - (株)広島銀行 [1]
 - 伊藤商事(株) [1]
 - (株)NTTデータ [1]
 - (株)三菱UFJ銀行 [1]
 - (株)大林組 [1]
 - 関西電力(株) [1]
 - TOTO(株) [1]
 - 東京海上日動火災保険(株) [1]
 - 日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株) [1]
 - 日本銀行 [1]
 - 富士フイルム(株) [1]
 - 経済産業省 [1]
 - 厚生労働省 [1]
- []内は就職者人数(人)

内定者の声

就職への多面的なアプローチ



経済学部での経験と学びが活かした就職活動

経済学部の授業を通して、社会課題に積極的に取り組む企業に早くから興味を持ちました。一方ゼミでは、バックグラウンドの異なるゼミ生たちとの自由な意見交換が、自分の価値観を見つめ直す機会に。また地元と関西を比較することで、ビジネスを通じて地方創生に関わりたいという思いが生まれました。就職活動では、これまでの経験で培った視点をもとに、自己分析やエントリーシートの記入を行い、選考に参加する企業を選択。面接やインターンシップの準備で不安が生じた際には、キャリアセンターを利用しました。経済学部での興味に沿った学びや周囲のサポートが、就職活動をスムーズに、自信を持って進める鍵となりました。

久保真ゼミ 長谷川 夏羽さん (大日本印刷株式会社 内定)

大学院進学者の声

経済学研究科へ進学。そして社会へ



大学院で深めた知見は将来の選択肢を広げてくれる

学部時代のゼミの研究が楽しく、知的好奇心を掻き立てられたのが大学院へ進んだきっかけです。さらに高度な知見を身につけ深い研究ができると考えました。内部進学による試験や奨学金に関するメリットも後押ししてくれました。多くの方が大学院進学という「研究者になる」と思いがちですが、実際はそればかりではなく、私のように純粋に学びを深めたくて進学する人もたくさんいます。教授との距離も近く、オフィスアワーという制度を使い担当教授以外の先生方に専門分野の話聞くこともできました。2年間深めた研究成果を携えて、公務員として社会に出ました。大学院で学んでからの就職も決して回り道ではありません。

東田啓作ゼミ 石本 康輔さん

Voice 卒業生の声

経済学部Webサイトでは、あらゆる分野で活躍する卒業生へのインタビュー記事を公開しています。



富士通株式会社

森安 誠さん
(2017年度卒業)

やりがいのある仕事につながる
ゼミや留学で得られた多様な価値観

ゼミや授業で得た「多様性」や「国際性」の視点を社会の発展に役立てたいと思い、現在の会社に就職しました。これからの時代にふさわしい、社員一人ひとりが輝ける新たな人事制度の導入に貢献。この制度は他社からの注目度も高く、社会に影響を与えられた点で、非常にやりがいを感じています。今後、「グローバル」や「多様性」の視点が重要度を増すと思います。様々な価値観に触れられる環境が大学にはありますので、ぜひ多くのことに挑戦してみてください。



パーソルキャリア株式会社

鈴木 絵里香さん
(2019年度卒業)

学生時代の経験を活かして
クライアントのために日々努力

「働くことの楽しさを周囲にも広げていきたい」という思いで、企業の採用活動をサポートしています。私の人材紹介やアドバイスによって企業と転職者のマッチングが成功したときの達成感は言葉では言い表せません。学生時代に塾講師をしていた時に、勉強を教えることをゴールと考えず、生徒の成長を目標に試行錯誤した経験が今に活かされています。留学するもよし、研究に打ち込むもよし。学生時代だからこそできることを関学経済学部で経験してみたいはいかがでしょうか。